

# 豊かな自然と 独自の歴史・文化の ハーモニー



飯田堀家初代堀昌親公神像  
(長姫神社蔵)

特集 飯田・伊那の衆と「夜明け前」

——激動の幕末期をサバイバルした旗本・大名家と民衆の知と力

飯田城址に建つ長姫神社

壮麗・雄大な景観を誇る秋の天竜峡 (飯田市観光課提供)

# 古い文化



1

①天竜峡から飯田市のシンボル風越山を望む

②伊那谷は、古来、格好の駿馬の牧として栄えた（片桐地区から南アを望む）

③宮垣外遺跡から出土した馬の全体骨格（後藤拓馬氏提供。本文 84 p 参照）

④妙前大塚古墳出土の眉庇付き冑（後藤拓馬氏提供。本文 84 p 参照）

⑤銀製垂飾付き耳飾（後藤拓馬氏提供。本文 84 p 参照）

⑥伊那谷古くから有力豪族が住み着いた（松川町片桐の「船山城址」碑）

⑦善光さん伝説を生んだ古刹元善光寺（飯田市座光寺）

⑧伊那谷の名勝「万古溪谷・唐沢の滝」（飯田市観光課提供）

⑨古い御柱祭りの風習を残す御射山諏訪七里神社

⑩御射山諏訪七里神社境内に建てられた「御柱」



5



4



3



2

信州人なら誰もが知っている「信濃の国」。第一番、「信濃の国は十州に境連なる国にして、聳ゆる山はいや高く、流るる川はいや遠し。松本伊那佐久善光寺四つの平は肥沃の地、海こそなけれ物澤に、萬足らわぬことぞなき」、第二番、「四方に聳ゆる山々は、御岳、乗鞍、駒ヶ岳、浅間はことに活火山、いずれも国の鎮めなり。流れ淀まず行く水は、北に犀川、千曲川、南に木曾川、天竜川、これまた国の固めなり」と謳われるように、長野県は本州の地でも最も峻険な山国として知られている。その中でも、南端の伊那谷は西に木曾山脈、東南に赤石山脈に挟まれ、間を天竜川が穿つ、という絵に描いたような峻険の地のイメージだ。ところが、その山間の地に

# 豊かな自然と



6



8



7



10



9

古墳時代から文明の花が開き、大陸からの文物が交流し、近世に入ってから交通の要所として、経済的・文化的に栄えていた、という事実を知る人は少ないだろう。

そして今日、この地は日本の東西を結ぶリニアモーターカーの中央の要所として、新たな、人・物・情報のネットワークの十字路として脚光を浴びようとしている。

今回の特集は、この飯田・下伊那地方の文化風土を探り、そのパワーのありかを探求した。まず本グラビアで、この地の豊かな自然環境、深い歴史文化の蓄積、自由な人間のネットワーク、そして未来への可能性を、目で見て感じていただきた上、さらに本文でじっくり読み取っていただきたい。

# 英知と諸侯の力

